

1. 【研究の概要図】

この応募用紙に記載する研究の概要を1頁以内で図式や分かりやすい色を用い、概要図を作成してください。

※様式の変更・追加は不可（以下同様）

研究課題名：20世紀後半のヨーロッパのアニメーション作品の実験性と芸術運動

【研究の背景】

旧ソビエト連邦の映画監督セルゲイ・エイゼンシュテインがアニメーション理論の中で提唱したアニメーションの特質「**原形質性**」（アモーバ的）

自由な形状変容 + **見るもの（物体）と捉えるもの（抽象）の間で揺れるメタファーの変容**

インディペンデント系のアニメーション作品は後者を巧みに用いて、観客に不思議な空間を提示する

フランス…アニメーションの誕生地の一つであり、固定化されていない**多様な**表現が看取される。

☺ 芸術運動シュルレアリスムとの関連

☺ フランスのアニメーション批評家**アンドレ・マルタン**(André Martin, 1925-94)の残したアニメーション論の全体像はまとめられていない。

→アニメーション批評の体系化／当時の映画批評雑誌と残された著書から構築する必要がある





→芸術史の中に位置付けて、その美学的観点から作品を分析する

【今後の研究】

目的：アニメーションの表現とそれが観客に与える映像体験の可能性に**新たな視野**を呈する。

方法：20世紀後半のフランスにおけるアニメーション批評を体系化し、芸術運動の背景と当時のアニメーション作品の関連を明らかにする。

内容：以下の点に取り組む。

	批評の分析	体験した者はどう語ってきたか アニメーション論の体系化／周辺の映画批評の解釈と積極的な取り入れ
	芸術運動	芸術史における背景 芸術運動シュルレアリスムとアニメーションの関連性の発展的な考察
	映像学へ	研究への桁上げ 個々の作品に見られる表現の映像学的視点をを用いた精密な分析
	映像体験	アニメーションの未来に向けて アニメーションの表現とそれが観客に与える映像体験の可能性の考察

同時に、ヨーロッパ全体の芸術動向に繋がる当国での表現変遷の体系化も行う。

【研究の特色・独創的な点】

- ① アニメーションを**芸術史**の中に位置付け、文学や美術史で語られるような**史的系統性**を構築する。
- ② 重要なフランスのアニメーション批評家であるアンドレ・マルタンの**論考**を体系化する。
- ③ 今後のアニメーション制作にも寄与する**創造的視点**を呈する。